

平成28年度

# 福田学園校友会総会のご案内



■日時 平成28年5月15日(日) 10:00~17:00 (受付 9:30~)

■場所 福田学園 2号館 (大阪リハビリテーション専門学校がある校舎)

■参加費 正会員(卒業生)・準会員(在校生)は無料

(会員以外の方は映画・記念講演に会場整理費として、それぞれ500円いただきます)

■映画上映「生まれる」(10:00~11:50)【6階 講堂】(正会員・準会員のお子様も無料。それ以外の方は大人のみ500円いただきます。)

※参加者は校友会会員・準会員の関係者に限ります。また参加には事前予約が必要です。

私達療法士は、対象者様の人生や命に係わる仕事をしています。命について質問されたとき答えられるでしょうか。

映画「生まれる」は2010年モントリオール世界映画祭や第16回サンアントニオ映画祭に入選した作品です。

今回、「生きる」ことを考える事で、自分たちが生まれてきた意味、命の大切さや家族の絆を考える機会にしていただけだと思います。[www.umareru.jp](http://www.umareru.jp)



子宮出身のすべての人ならへ贈る 感動のドキュメント

両親の不仲、産後の孤独、出産を切り口にした「親子の物語」なのだと思ふ。親に、愛く、涙く、感謝した。

乙武洋匡 (俳優)

映画を見終わり、胸にいた痛みを癒さしめた。素敵な映画が生まれてくれて、ありがとう。

久保純子 (フリーランスライター)

自分を支えてくれた金銭的な父(いのち)と出会えた奇蹟。大切な人になら、「ありがとう」を伝えたくになった。

別所哲也 (俳優)

新しく生まれる命を産んでくれた、リアルなドキュメント。きれいごとばかりない、涙の、感動、無難さを伝える言葉に突き当たるが、それでも、なにか親々々の物語。この映画で僕らに伝えてくれた!

政井文彦 (フリーランスライター)

「僕はただ、両親と仲直りがたくて、この映画を作ったのかもしれない」

自分は愛されているだろうか。自分は本当にこの父親の子でもなんだろうか。懐かいた時から、僕はそう思っていました。4歳年下の弟が目が半分開かない状態で産まれてきたことから、両親は弟の事で精一杯。僕は「親の愛情」というものを、知らずに育った気がしていました。

自分はずうずうまれてきたのか、同じために生きているのか。自分の存在価値がよわわらなくなり、結婚や子どもを持つことに、全く手を離れませんでした。

そんなある日、講演会で「赤ちゃんは雲の上で親を選んで生まれてくる」という他人事の話を聞きました。

自分は何で生まれてきたか、手では親を愛べないはずと想っていた僕は、科学的でアンタジーな話を聞いて、心から感動したのです。

自分が選んだのかも、と考えると、いまの親子関係は自分にも責任があるのでは、自分も本当は愛されていたのでは、長らく抱いていた不安定な感情が少しずつ消えていくのを感じました。「うまれる」ことを映画にしたい!命の原点に向き合うことで、僕自身、両親との関係を変えてみるかもしれない。

それから3年あまり、男前もこの家族、ご夫婦を題材に撮影させていただきまして、「うまれる」ことを知れば知るほど、その奥深さと神妙に僕は圧倒されました。

産まれてくること、そして生きることは、まさに奇蹟の連続。誰では分かっている命の尊さ、感じる機会ってどのくらいあるのでしょうか

全身の細胞全部で、映画のメッセージを受け止めていただけたら企画・監修・撮影 栗田トモ

あなたの目で映画「うまれる」を上映しませんか? 自主上映会サービスの詳細はこちらをクリック

自分たちが産まれてきた意味や家族の絆、命の大切さ、人との繋がりを、として「生きる」ことを考える、ドキュメンタリー映画です

「うまれる」 映画「うまれる」つるの剛士 主演 監督 栗田トモ 監修 栗田トモ 脚本 栗田トモ 音楽 栗田トモ 編集 栗田トモ 撮影 栗田トモ 衣装 栗田トモ 美術 栗田トモ 照明 栗田トモ 録音 栗田トモ 効果音 栗田トモ 編集 栗田トモ 制作 栗田トモ

www.umareru.jp

■校友会総会 [事業報告・予算審議など] (12:00~12:30) 【6階 講堂】

■昼食休憩(12:30~13:20) 昼食は各自でお取り下さい。

■記念講演 山田 規畝子先生（医師）（13：30～15：00）【6階 講堂】

「私と高次脳機能障害～リハビリテーションを受ける立場から～」

著書「壊れた脳、生存する知」他 ご参考：著者HP <http://maido.rocket3.net/kikuko/>

入学前の課題や概論の授業などで、山田先生の著書を読まれた方も多いのではないでしょうか。

今回は、愛媛から山田先生をお招きしております。

医師であり、母であり、リハビリテーションを受ける当事者である山田先生ご本人が、皆様の質問に直接答えてくださいます。せっかくの機会ですから、どんどん質問をお寄せください。



それでも脳は学習する  
(講談社)



壊れた脳 生存する知  
(講談社)

■大学院について ・概要と特徴（15：10～15：20）【すべて6階 講堂】

- ・運動器疾患（15：20～15：35）
- ・脳神経疾患（15：35～15：50）
- ・認知、コミュニケーション（15：50～16：05）

■ビンゴ大会（16：10～16：40）【6階 601教室】

今年の賞品は、活動量計（フィットビット）、パルスオキシメーター、聴診器、商品券などなど  
もれなく参加賞もあります。

※記念講演は会員以外の方でもご参加いただけます。参加費用：お一人500円（申込時に会員以外の方はご連絡ください）

**【申し込み先】**

校友会会員・準会員は無料です。件名に「校友会総会参加」と入力し

① お名前②卒業学科(職種)③卒業年度(または、一般)④連絡先電話番号⑤経験年数をご記入の上、[koyukai@ocr.ac.jp](mailto:koyukai@ocr.ac.jp)までお送り下さい。

会員以外の方は、③に一般とご記入ください。

問合せ先：福田学園 校友会事務局 本山 06-6352-0091